



FY2024 Q1決算説明会

2024年8月8日
パーソルホールディングス

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

パーソルホールディングス株式会社

2024年8月8日（木）15:15-16:00 開催

FY2024 Q1 決算説明会 書き起こし

ハイライト



1

FY2024 Q1決算概要

- 売上収益は3,608億円（前期比+9.8%）、調整後EBITDAは229億円（同+20.7%）、営業利益は169億円（同+15.6%）
- 通期業績予想に対する調整後EBITDAの進捗率は30.2～31.4%

2

FY2024 通期の業績見通し

- 下期の景況感など人材紹介市場の不透明感是不変のため、想定レンジ内の見込み
- Q1未消化のマーケティング投資や採用投資は、市場の状況を見ながらQ2以降に実施の予定

3

Topics

- 第6回プラチナキャリア・アワード 受賞
- 第9回 HRテクノロジー大賞 受賞
- 第13回日本HRチャレンジ大賞 受賞

*1 FY2024は2025年3月期を指します（以下同じ）

*2 FY2023よりIFRSを適用

*3 本資料における各SBU前期実績数値は、障害者雇用費用を新配賦スギムでプロフォーマ後の数値

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

2

【代表取締役社長 CEO 和田】パーソルホールディングスの代表取締役社長 CEO の和田です。

本日はご参加いただきまして誠にありがとうございます。

本日私から皆様にお伝えしたいことはこの3点でございます。1つ目はQ1の決算概要、2つ目は通期見通し、そして3つ目は当社のトピックスをぜひ共有させていただきたいと思っております。

まず初めに、Q1の決算概要です。売上収益は3,608億円と、前期比+9.8%。調整後EBITDAは229億円、同+20.7%。そして営業利益は169億円、同+15.6%で着地しております。また、通期業績予想に対する調整後EBITDAの進捗率は、30.2%から31.4%の間でございます。

2つ目、2024年度の通期の業績見通しでございますが、昨今の株価の乱高下、ならびに為替相場の大幅な変動を受け、今後のマーケット状況はますます不透明感が広がっております。状況はしっかりと認識し、かつ対応していきたいと思っておりますが、そういったものも踏まえましても通期の業績予想は期初発表の想定レンジ内に収めるつもりでございます。また、Q1未消化のマーケティング投資や採用投資について、これがQ1の上振れの要因になっている部分もございますが、そこに関しましては市場の状況等をしっかりと見極め、マーケットの状況を鑑みながら適切に実行、実施してまいりたいと考えています。

そして、3つ目はトピックスです。これは、人的資本経営を標榜しております我々にとって非常に嬉しいお知らせでございます。1つ目が、第6回プラチナキャリア・アワードの優秀賞、そして第9回HRテクノロジー大賞、こちらも優秀賞。そして第13回日本HRチャレンジ大賞に関しましても優秀賞をいただいております。中身に関しましては後ほどご報告をさせていただきます。

それでは、まず決算概要につきまして、CFOの徳永より皆様にご説明をさせていただきます。徳永さんお願いします。

FY2024 Q1決算概要

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

【執行役員 CFO 徳永】CFO の徳永です。それでは私から Q1 の決算概要について説明をいたします。

FY2024 Q1 決算概要（連結）

売上収益・調整後EBITDAともに堅調に拡大



(Million yen)	FY2023 Q1実績	FY2024 Q1実績	YoY	通期業績予想（進捗率）
売上収益	328,703	360,814	+9.8%	1,417,000 (25.5%) ~1,429,000 (25.2%)
売上総利益	75,103	84,111	+12.0%	-
営業利益	14,675	16,966	+15.6%	52,000 (32.6%) ~55,000 (30.8%)
営業利益率	4.5%	4.7%	+0.2pt	3.7% ~3.8%
EBITDA	21,782	24,815	+13.9%	-
EBITDA Margin	6.6%	6.9%	+0.3pt	-
調整後EBITDA	19,014	22,944	+20.7%	73,000 (31.4%) ~76,000 (30.2%)
調整後EBITDA Margin	5.8%	6.4%	+0.6pt	5.2% ~5.3%
四半期利益*	9,369	12,952	+38.2%	32,500 (39.9%) ~34,500 (37.5%)
調整後四半期利益	10,513	15,137	+44.0%	38,300 (39.5%) ~40,300 (37.6%)
EPS (Yen)	4.14	5.72	+38.2%	14.24 (40.2%) ~15.12 (37.8%)
調整後EPS (Yen)	4.62	6.63	+43.6%	16.79 (39.5%) ~17.66 (37.6%)

* 親会社の所有者に帰属する四半期利益

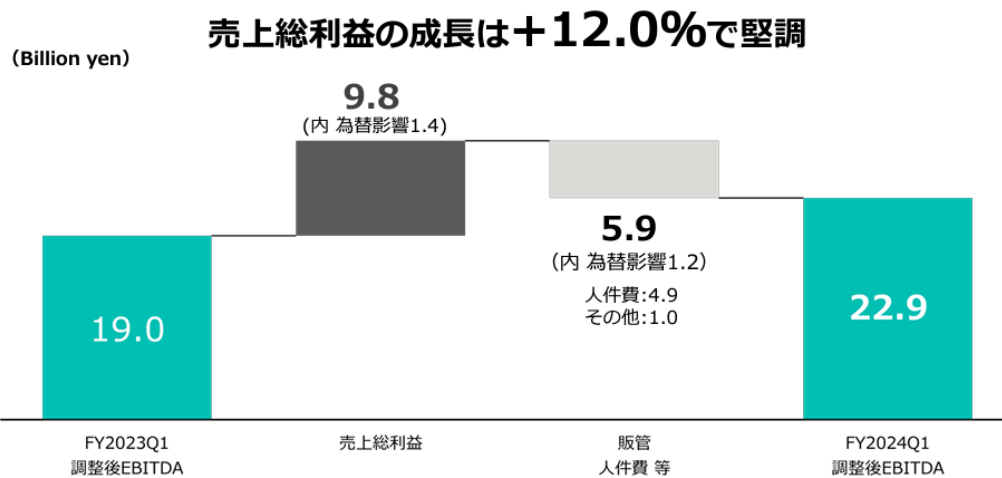
Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

4

先ほどありました通り、売上高につきましては前年同期比で約 10%増の 3,608 億円。また売上総利益につきましても、12%増の 841 億円でした。IFRS 営業利益につきましては、同じく前年同期比約 15%増の 169 億円でした。また、私ども経営陣が重要視しております調整後 EBITDA につきましては、約 20%増の 229 億円という結果でした。

なお、四半期利益ですが、オーストラリアの Programmed の法人税で約 13 億円還付がございましたので、前年同期比 38%増の 129 億円でした。

FY2024 Q1 調整後EBITDAの増減分析（前期比）



5

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

続きまして、前年の調整後 EBITDA との差異でございます。

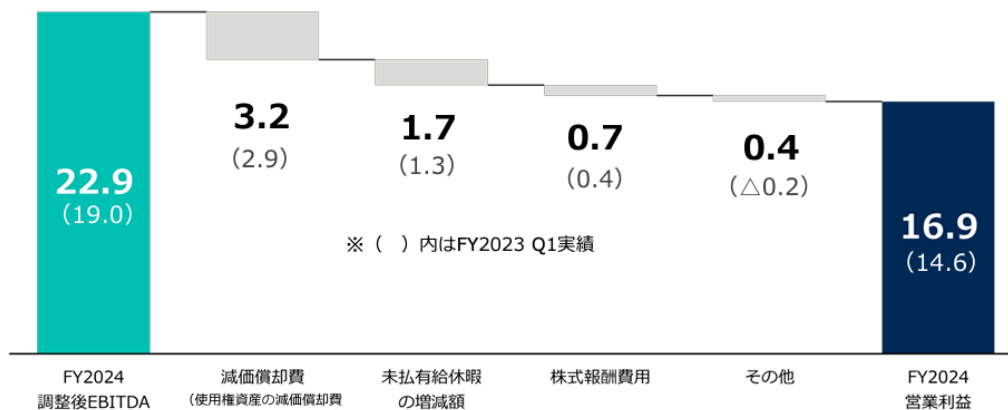
前年は 190 億円でしたが、この Q1 は売上総利益が 98 億円増。そして販管費が 59 億円増ということで、229 億円という結果でした。また、為替の影響でございますが、売上総利益については 14 億円、そして販管費については 12 億円でございます。

なお、期初の見通しに対する差異でございますが、期初見通し対比で、（為替の影響を除き）売上総利益が約 20 数億円増加し、一方で販管費については 40 億円程度少なくなっております。

FY2024 Q1 調整後EBITDAとIFRS営業利益



(Billion yen)



* 調整後EBITDA = 営業利益 + 減価償却費(使用権資産の減価償却費のうち家賃等相当額を除く) + (-) 未払有給休暇の増額(減額) + 株式報酬費用 - (+) その他の収益(費用) - (+) その他恒常的でない収益(損失)

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

6

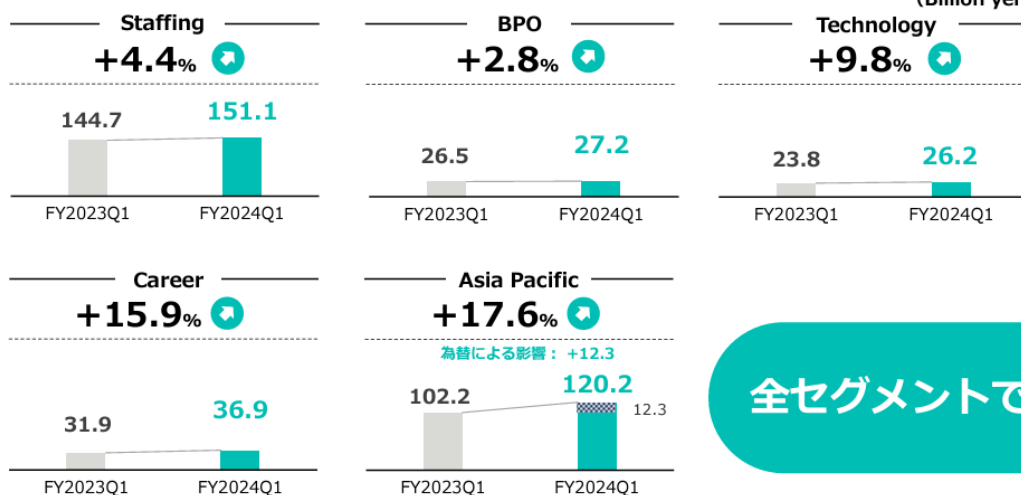
続きまして、調整後 EBITDA から IFRS 営業利益までのウォーターフォールでございます。

まず調整後 EBITDA は 229 億円でしたが、償却費が前年対比 3 億円増の 32 億円。また有給負債が前年対比 4 億円増の 17 億円等で、IFRS 営業利益は 169 億円でした。また、有給の引当増の主な理由としては社員の賃上げによるものでございます。

FY2024 Q1 SBU別売上収益



(Billion yen)



* SBU : Strategic Business Unitの略 (以下同じ)

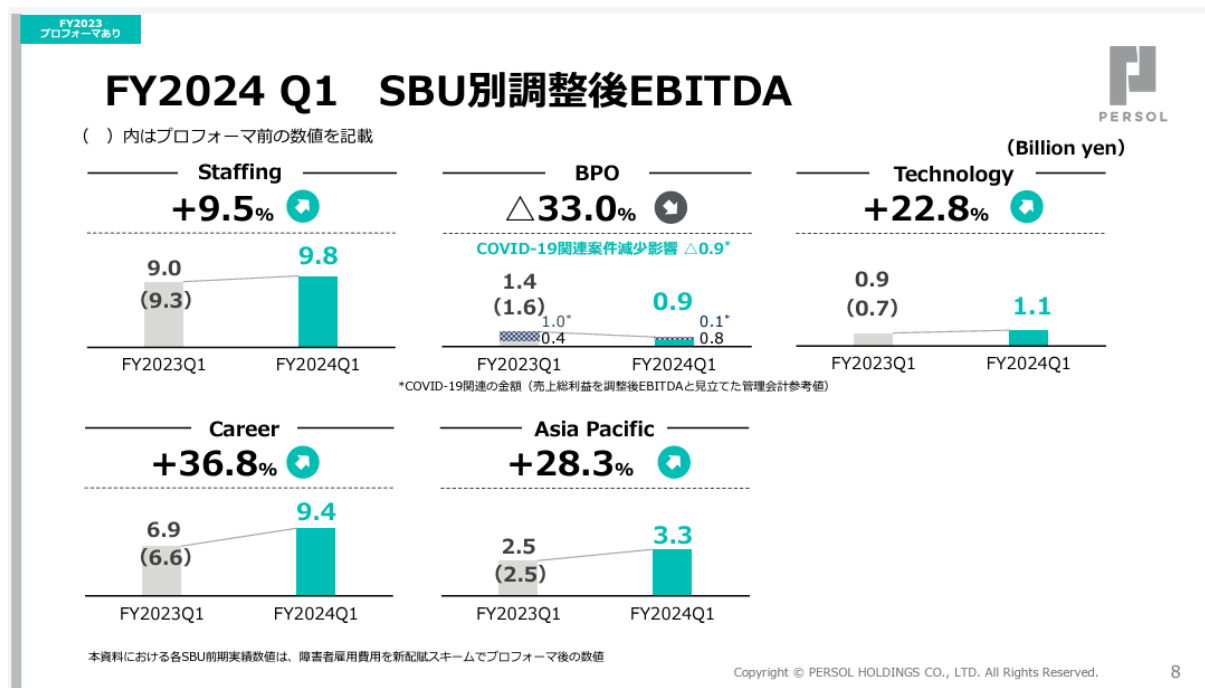
Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

7

全セグメントで増収

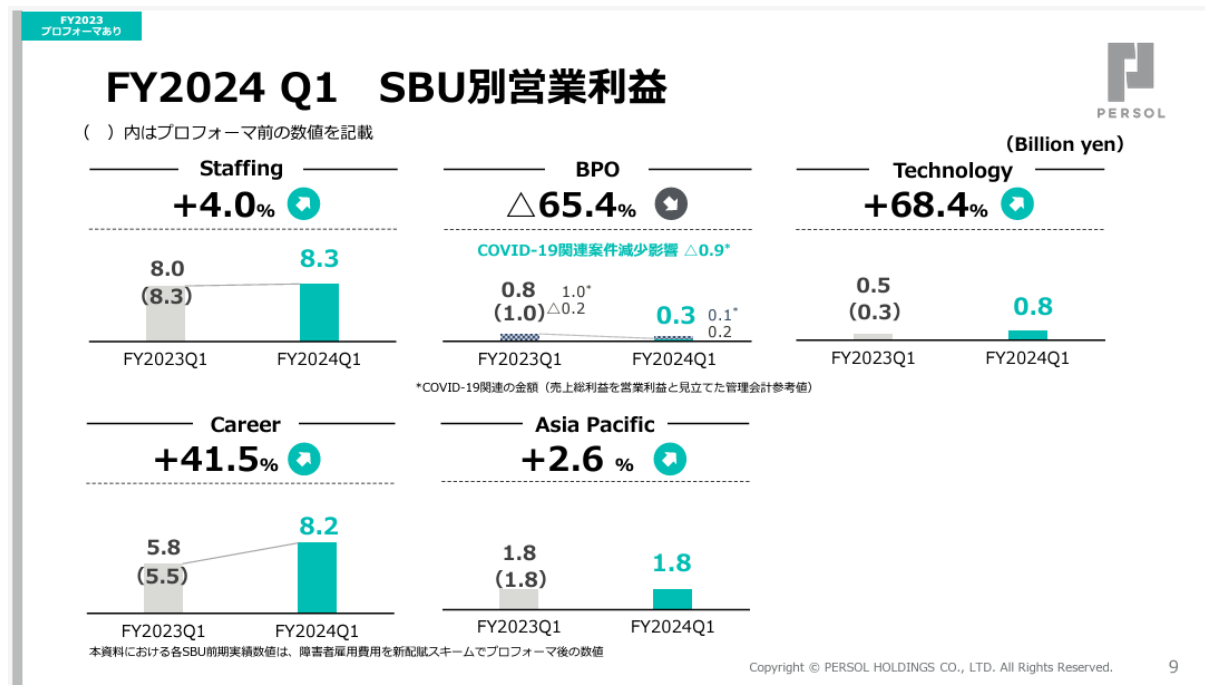
続きまして、SBU 別の売上高の状況でございますが、ご覧いただいた通り全セグメントで増収を達成することができました。

今期の成長の柱でございます Career SBU につきましても、約 16%の増収でした。



続いて SBU 別の調整後 EBITDA の状況でございます。

コロナ関連案件がほぼなくなりましたので、BPO SBU につきましては 33% の減益でございますが、その他の SBU についてはご覧の通り大幅な増益を達成しております。

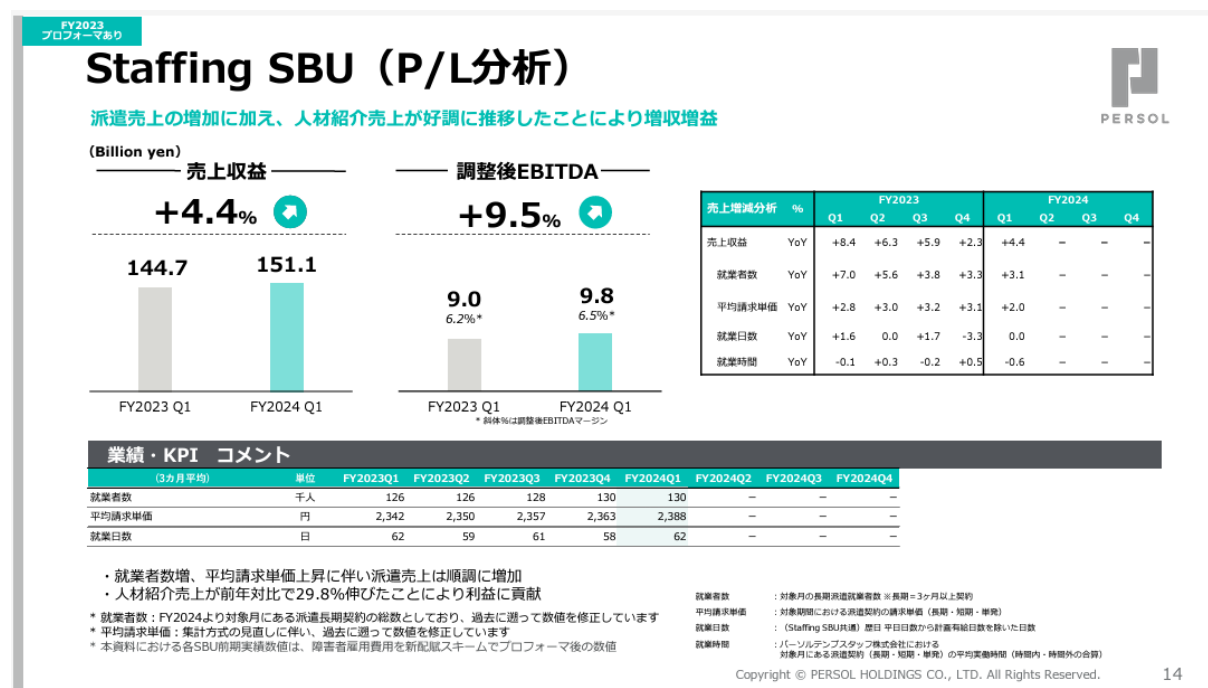


続きまして SBU 別の営業利益の前年同期比でございますが、調整後 EBITDA とほぼ同じ状況ですので説明は省略させていただきます。

FY2024 Q1 SBU別決算概要

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

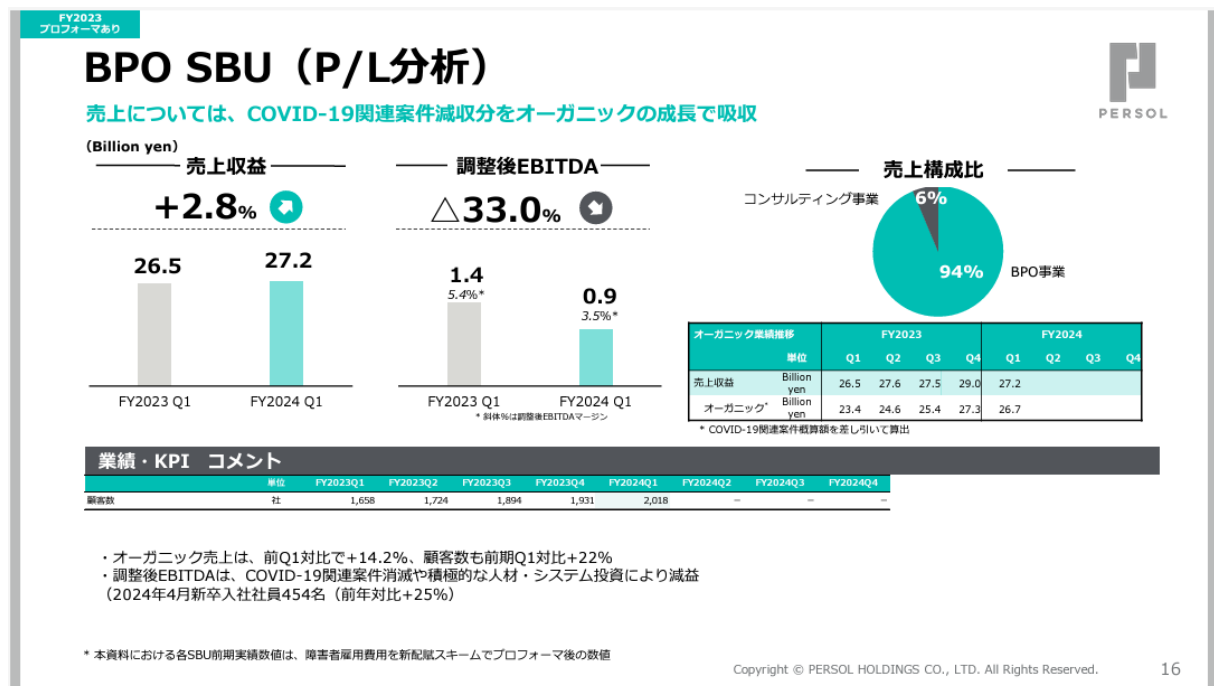
続きまして、SBU 別の決算概要、また主な KPI の状況でございます。



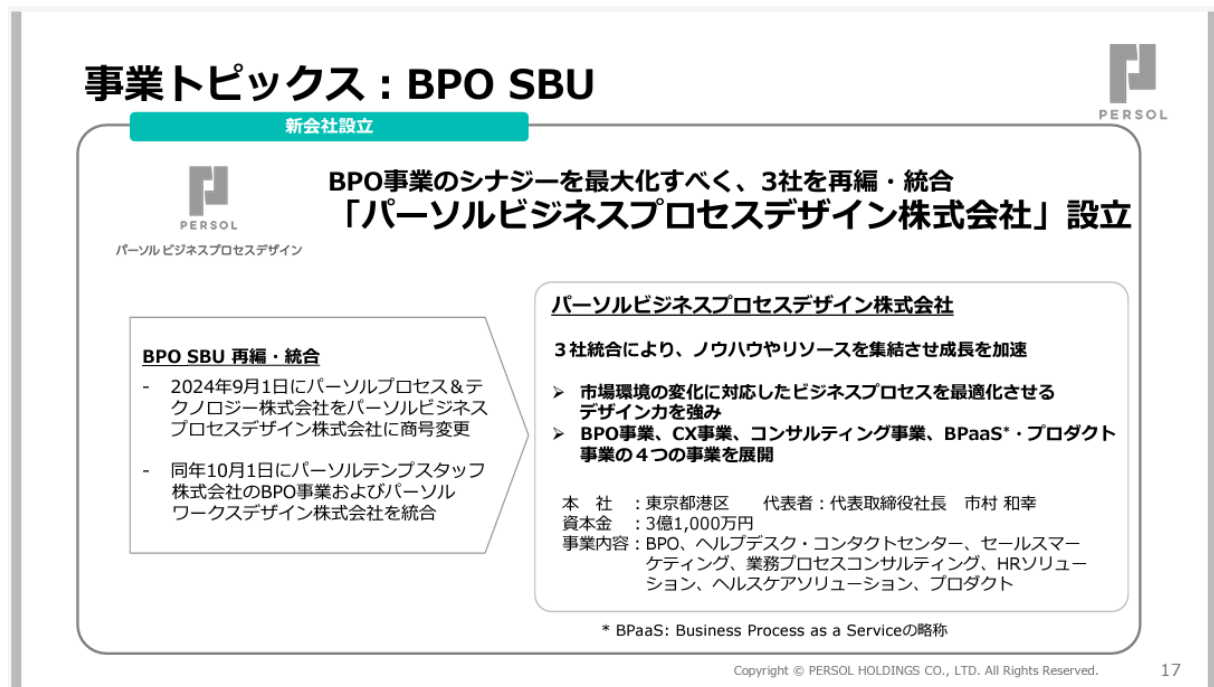
当社の主力でございます、Staffing SBU です。

売上高につきましては、前年同期比で 4%強の増収でございました。また調整後 EBITDA につきましては、前年同期比で約 10%増ということで、増益を達成することができました。

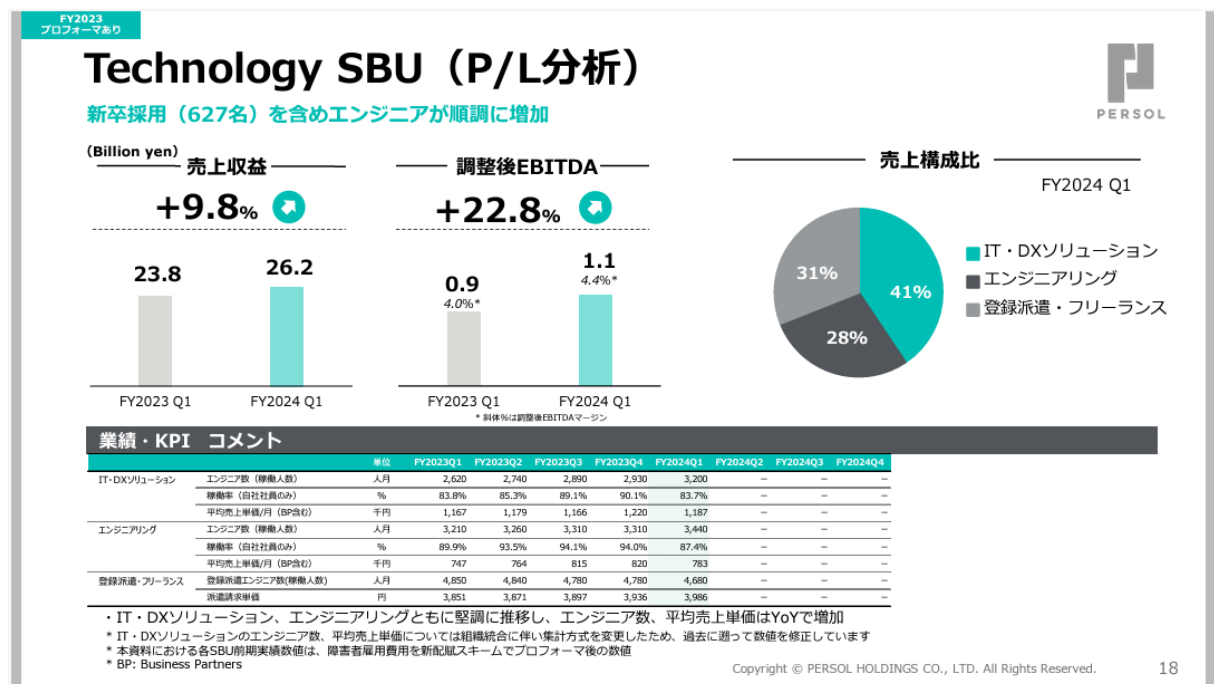
派遣紹介で前年対比 30%増になったことが増益の主な要因でございます。また派遣の KPI ですが、右の方の表に書いております通り、就業者数につきましては約 3%増の 13 万人、そして平均請求単価も約 2%の増でございました。



2 つ目の SBU でございます BPO SBU ですが、冒頭説明した通りコロナの業務が剥落したことで減益になっておりますが、コロナ以外の、私どもがオーガニックと呼んでおります業務につきましては、売上が約 14%増、またお客様の数につきましては 20%強の増ということで、好調な状況でございます。



BPO SBU でございますが、今年の 10 月 1 日に会社を統合し、社名もパーソルビジネスプロセスデザインに変更し、グループの再編を行う予定でございます。なおこれにつきまして、セグメントに変更等はございません。



続いて、3 つ目の SBU でございます Technology SBU です。

売上高につきましては約 10% の増、そして調整後 EBITDA につきましては約 23% の増ということでございます。

下の表に詳しく書いておりますが、まず IT 系のエンジニア数につきましては約 20% 増※、また機械、電気のエンジニア数につきましては約 7% 増の 3,400 名程度になっております。一方で一番下に書いておりますが、登録型の派遣につきましては微減ということでございます。

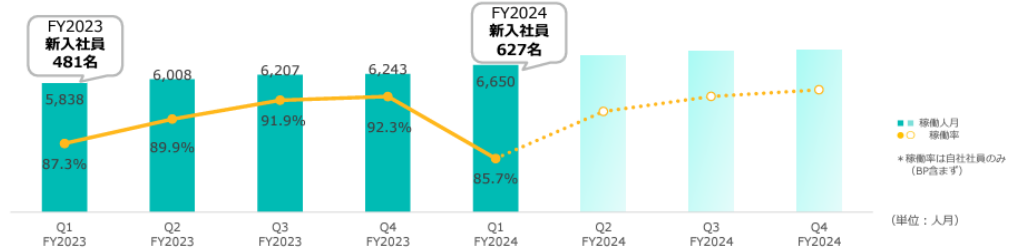
※IT・DX ソリューション事業は、FY2024 にセキュリティサービス事業を承継しました。エンジニア数においては、YoY 約 20% 増のうち、およそ半分が当該承継による影響です。

稼働率と平均売上単価（IT・DXソリューション+エンジニアリング）

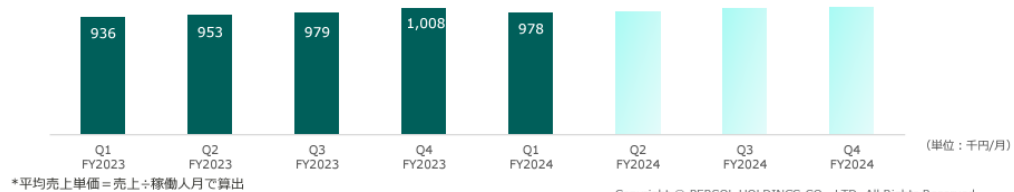
（※登録派遣・フリーランスは除く）



稼働人月と稼働率の推移（FY2024Q2以降はイメージ）



平均売上単価の推移（稼働人月ベース、FY2024Q2以降はイメージ）



Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

19

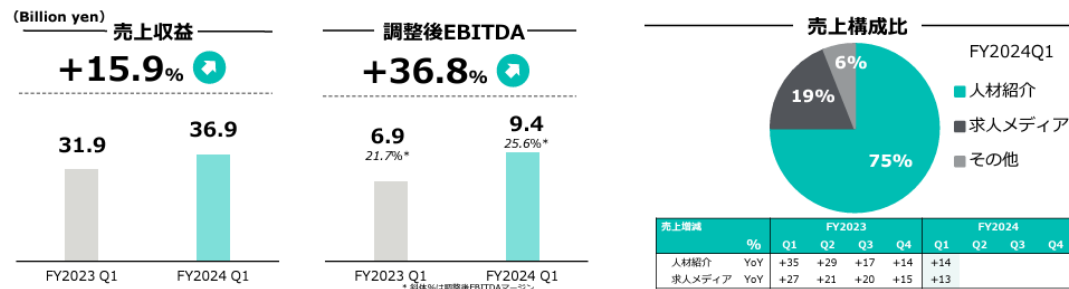
Technology SBU の稼働の人数と稼働率の推移をグラフで示しております。

今年度は昨年度を上回る 627 名の新入社員が 4 月に入りましたので、稼働率が一旦下がりますが、昨年同様 Q2 以降稼働率が上がっていくと見込んでおります。

また下の平均の売上単価でございますが、Q1 は昨年度の 93 万 6,000 円に対して 97 万 8,000 円ということで、約 4% 請求単価を上げることができました。

Career SBU (P/L分析)

売上収益は想定通り増収。市況感を鑑みQ1は広告等の費用を抑えたが、年度末にかけて適時適切に執行予定



業績・KPI コメント

	単位	FY2023Q1	FY2023Q2	FY2023Q3	FY2023Q4	FY2024Q1	FY2024Q2	FY2024Q3	FY2024Q4
人材紹介事業のHC	人	2,104	2,268	2,304	2,355	2,404	-	-	-
人材紹介事業の生産性	千円	3,190	2,725	2,574	2,732	3,167	-	-	-

- ・ COVID-19収束後の著しく過熱感のあった人材紹介需要の落ち着きや、賃上げなどを背景とした転職希望者の慎重な傾向等は、前期Q4から変わらず
- ・ HC：FY2024Q1はYoY+14%。育成・生産性とのバランスをみて、採用ベースはコントロール
- ・ 生産性：FY2024Q1はYoY-1%

* 人材紹介事業のHCは、Career Advisors、Recruiting Advisors、Project Agents等の総数
 * 本資料における各SBU前期実績数値は、障害者雇用費用を新配賦スキームでプロフォーマ後の数値

4 つ目の SBU でございます Career SBU です。

冒頭説明しました通り、期初の見通し対比をやや上回る約 16%の増収ということでございます。また調整後 EBITDA につきましては大幅増の 37%増の 94 億円という実績でした。

Career SBU の KPI ですが、まずコンサルタントの数につきましては昨年度の Q1 対比で 14%増ということでございますが、昨年度の Q4 対比ではややコンサルタントの採用を抑えております。また Q4 に少しコンサルタントの生産性が下がってございましたが、昨年度の Q1 対比でほぼ同じレベルの 316 万円まで生産性が回復しております。

Asia Pacific SBU (P/L分析)

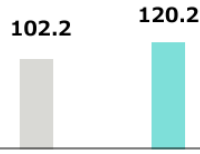
ファシリティマネジメント事業が順調に推移し増収



(Billion yen)

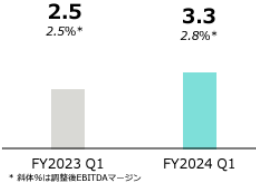
売上収益

+17.6%



調整後EBITDA

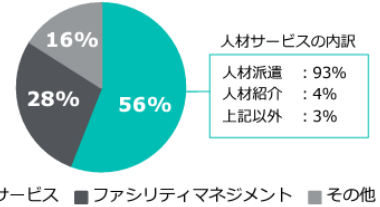
+28.3%



* 科体率は調整後EBITDAマージン

売上構成比

FY2024Q1



人材サービスの内訳

人材派遣 : 93%
人材紹介 : 4%
上記以外 : 3%

業績・KPI コメント

人材サービス

- 人材紹介は引き続き一部の国で低調だったものの、人材派遣は各国概ね堅調に推移
- 人材紹介事業において、コストコントロールを実施
- 人材紹介のHC（コンサルタント数）はQ1平均1,126名

ファシリティマネジメント

- 順調に成長し、豪ドルベースで2桁成長

* 期中為替レート 【豪ドル】 FY2023Q1 : 91.9円、FY2024Q1 : 102.7円

* 本資料における各SBU前期実績数値は、障害者雇用費用を新配賦スキームでプロフォーマ後の数値

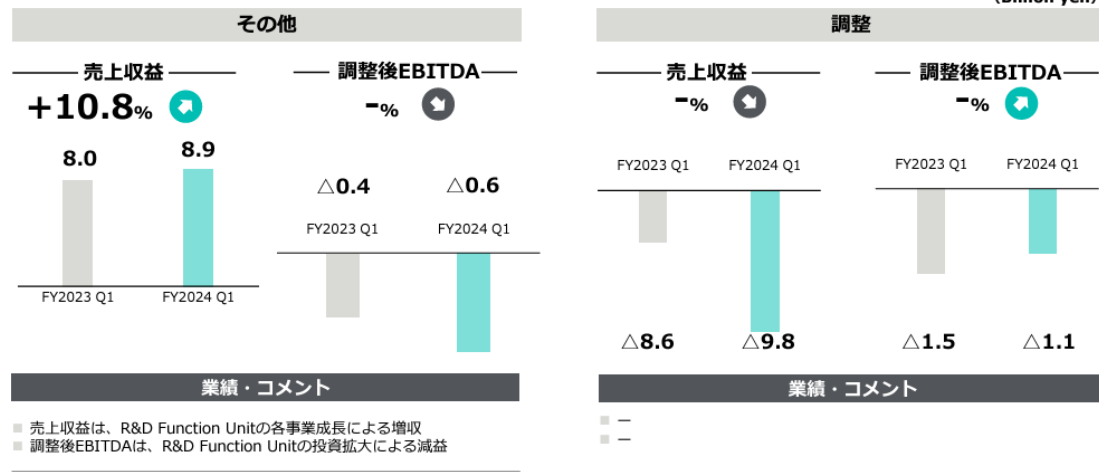
最後のSBUでございます、Asia Pacific SBUです。

こちらも冒頭説明した通り、為替の影響が約 12%ございましたが、為替の影響を除いても現地通貨ベースで約 5%の増収を達成することができました。

調整後 EBITDA につきましても約 28%の増益でございます。

各事業の状況でございますが、人材紹介につきましてはまだコロナの前のレベルまでは戻っておりませんが、人材派遣については好調な状況でございます。また、オーストラリアのファシリティマネジメント事業につきましては現地通貨ベースで 2 桁の増収ということでございます。

その他・調整（P/L分析）



* その他および調整の内容につきましては、決算短信のセグメント情報等に関する注記をご参照ください
 * 本資料における各SBU前期実績数値は、障害者雇用費用を新配賦スキームでプロフォーマ後の数値

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

24

その他に含まれる R&D Function Unit ですが、シェアフルを中心に投資をしておりますので若干減益になっております。また連結の調整ですが、前年同期比で調整後 EBITDA が改善しております。

事業トピックス：R&D Function Unit

スキマバイト「シェアフル」新CM放映開始。700万ダウンロード達成

シェアフル



Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

25

シェアフルにつきましては 700 万ダウンロードを達成することができました。

以上、私から Q1 の決算概要について説明をいたしました。

Group Topics

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

【代表取締役社長 CEO 和田】引き続き私の方から、グループのトピックスについてお伝えいたしたいと思います。

第6回「プラチナキャリア・アワード」優秀賞を初受賞



「“はたらくWell-being”創造カンパニー」を掲げ、キャリアオーナーシップ支援や DEI*推進の取り組みなどが評価

- 「プラチナキャリア・アワード」では、長期的視点、自律的学び、社会課題解決を特徴とする「プラチナキャリア」の構築を支援する企業を表彰
- パーソルが「自分のはたらくは、自分で決める。」という考え方を大切にし、社員一人ひとりが主体的にキャリアを形成する意向と行動を「キャリアオーナーシップ」と定義づけ、社員がキャリアを主体的に構築できるよう多様な支援をしている点が評価された



詳細は[こちら](#)

*DEI : Diversity, Equity & Inclusion

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

28

まず初めに、第6回のプラチナキャリア・アワードの優秀賞を初受賞いたしました。

我々は“はたらく Well-being”創造カンパニー”を掲げ、個人個人の「はたらく」に対するオーナーシップ、キャリアオーナーシップをしっかり持ってもらい、そういう取り組みを進め、そして DEI の推進を積極的に進めていくという取り組みをしておりましたが、この取り組みが評価をいただきまして、このプラチナキャリア・アワードで優秀賞をいただくことができました。

第9回HRテクノロジー大賞と 第13回日本HRチャレンジ大賞をW受賞



HRテクノロジー大賞 「人的資本経営部門優秀賞」

- 「HRテクノロジー大賞」は、日本のHRテクノロジー、人事ビッグデータ（アナリティクス）の優れた取り組みを表彰することで、この分野の進化発展に寄与することを目的とするアワード
- パーソルは、独自のキャリアオーナーシップ支援プラットフォームにより、ダイレクトリクルーティング型異動制度を実現、社員のエンゲージメント向上とグループ内部労働市場の活性化に寄与する取り組みとして評価された

詳細は[こちら](#)



日本HRチャレンジ大賞 「人材マネジメント部門優秀賞」

- 「日本HRチャレンジ大賞」は、人材領域で優れた新しい取り組みを積極的に行っている企業を表彰するアワード
- 国内社員2.5万人を対象に募集部署が直接社員をスカウトする「キャリアスカウト制度」が、自律的キャリア形成の後押しや、マッチング率向上、情報の非対称性解消など、採用プロセスの変革と人材活用、キャリア形成手段の革新をもたらす優れた取り組みとして評価された

詳細は[こちら](#)



Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

29

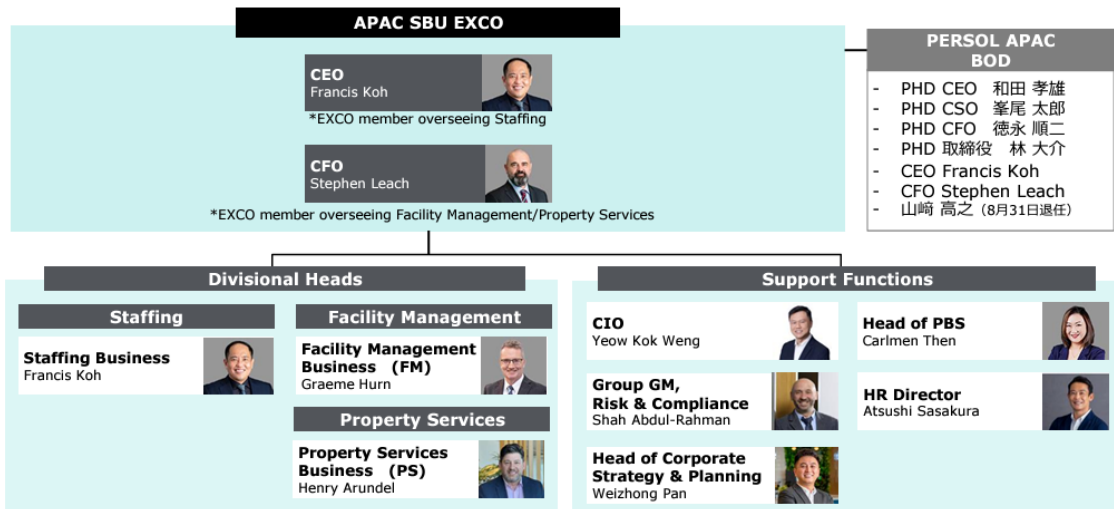
あわせて、第9回HRテクノロジー大賞、第13回日本HRチャレンジ大賞においても、人的資本経営部門の優秀賞、そして人材マネジメント部門の優秀賞をそれぞれいただくことができました。

これも、キャリアオーナーシップをいかに育むか、そして個人の「はたらく」をいかに自分で選択できるようにするかを重視し、そういった体制を作るためのプラットフォームを用意いたしました。こういったプラットフォームの取り組み、そしてそのエンゲージメント向上に向けた成果、そういったものが非常に評価されたのがHRテクノロジー大賞でございます。

また、個人が登録すると、社内の他部署、他グループ会社の人がある人をスカウトできるといった、キャリアスカウト制度という取り組みが非常に高く評価され、かつ社内、社員のエンゲージメント向上にもしっかりと成果が上がっているということをご評価いただき日本HRチャレンジ大賞を受賞いたしました。今後もこういった取り組みは人事のプラットフォームとして、人材のショーケースとなるべくしっかりと推進していきたいと考えています。

APAC新体制について

2024年8月1日より、新体制に移行



Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

30

そして最後ですが、APAC が 8 月 1 日から新体制に移行しておりますので、これに関しましても少しご報告をさせていただきます。

今まで APAC において Staffing 部門全てを統括してくれていた Francis Koh を、APAC 全体の責任者としてプロモートすると共に、パーソルホールディングスの経営メンバーとして迎え、よりこの APAC の事業推進、そして今後の成長を牽引していく、そういった体制を構築してまいります。なお、前任の山崎に関しましては 8 月 31 日をもちましてパーソルグループを卒業いたします。

今後ますます我々の経営メンバーもグローバル化させ、かつ積極的に多様性を取り入れて、より強固な事業形態を構築してまいりたいと考えています。

私からの説明は以上でございます。